

住民協働の現状と課題

1 当町における住民協働の現状

当町では、これまでも、事務・事業の執行や各種計画づくりに住民参加を図り、町民や各種団体などと連携・協力してまちづくりを進めてきました。

また、地域コミュニティを支える行政区や自治会のほか、様々な分野の市民活動団体等が、それぞれの考えと責任に基づく自主的な活動を通してまちづくりに貢献してきました。

(1) 事務・事業の執行や各種計画づくりに係る附属機関等の設置状況

43機関

(2) パブリックコメント(各種計画等に対する意見公募)の実施状況

7件

- ア 白岡町次世代育成支援行動計画
- イ 白岡町改革推進プログラム
- ウ 国民保護に関する白岡町計画
- エ 白岡町自転車放置防止条例の一部改正案
- オ 第4次白岡町総合振興計画後期基本計画
- カ 白岡町洪水ハザードマップ
- キ 白岡町住民協働推進指針

(3) 土地利用計画における町民意見の把握・反映

篠津北東部地区の地域づくりに係るワークショップ*方式(工房、作業場の意味:住民参加型の作業・検討組織)による町民意見の把握

(4) 当町におけるNPO法人等の設立状況 7団体

- ア 特定非営利活動法人「あゆみ」

- 障害者、高齢者等の自立支援活動を展開
- イ 特定非営利活動法人「SHIRAOKA K'sフットボールクラブ」
中学生に対するサッカーを通じた青少年健全育成活動を展開
- ウ 特定非営利活動法人「みのり」
障害者に対する支援活動を展開
- エ 特定非営利活動法人「ワンダフル・キッズ・プロジェクト」
インターネット上での「育児記録」に関する情報提供を通じた児童の健全育成活動を展開
- オ 特定非営利活動法人「白岡町地域支援いちょうの木」
高齢者、障害者、児童及びその家族に対する介護と保育の支援活動を展開
- カ 特定非営利活動法人「白岡彩野ベースボールクラブ」
中学生に対する野球技術の向上、心身の健全な発育を図り、地域のスポーツ振興活動を展開
- キ 白岡国際交流会
外国人との交流を通じた国際交流活動を展開

(5) 当町におけるボランティア団体の設立状況

- ア 白岡町社会福祉協議会の把握団体
- (ア) 白岡町くらしの会
 - (イ) 白岡町手をつなぐ親の会
 - (ウ) 白岡町老人クラブ連合会
 - (エ) 白岡町母子愛育会
- イ 白岡町ボランティア連絡会への加盟登録団体数
22団体

(6) 社会教育関係団体の登録団体数

87団体

(7) 生涯学習人材バンクの登録者数・登録団体数

登録者数102人、登録団体数56団体

2 住民協働を推進する上での課題

当町を取り巻く様々な現状から、住民協働を推進する上での課題を次に掲げる3つの項目にまとめます（一般的に言われている課題を含みます。）。

(1) 情報の共有化

- ア 行政情報は一般的に分かりにくい。
- イ 情報の公開と説明責任が十分に果たされていない。
- ウ 町民の声がまちづくりに十分に活かされていない。

(2) 環境の整備

- ア 相互交流や情報交換できる環境が十分でない。
- イ 参加や参画、協働を促す工夫や機会が足りない。
- ウ 計画、立案段階での協働の取組が十分でない。
- エ ボランティア活動などについての相談や指導・助言が十分でない。
- オ ボランティアやNPOなど、町民の活動状況などの情報を集約し、提供する仕組みが十分でない。

(3) 人材の育成

- ア 協働の担い手となる人材の育成が十分でない。
- イ 意欲や能力のある人材が十分活用されていない。
- ウ 町民の活動に対して、指導・助言できる人材が不足している。
- エ 住民自治や協働の意識が醸成されていない。
- オ 町民と行政との役割分担に基づいた連携・協力の意識が十分でない。